



O'S NEWS

回復期リハビリテーションセンターが増床されました

名誉院長 回復期リハビリテーションセンター長 久我 純弘

2025年1月1日から当院の回復期リハビリセンターは10床増床されて60床になります。希望の多かった4人床の部屋を増やし、個室は2部屋にすることで同じ病棟内で増床することができました。同時にトイレの改修工事をも行い、より使いやすくなりました。これまでよりも多くの患者さんが回復期リハビリを受けことができるようになります。

当院では2023年、1年間に約1,300人の脳卒中の患者さんが急性期病棟に入院されました。急性期の治療終了後は、症状が軽い患者さんは自宅に退院され、非常に重症な患者さんは療養病床に転院されますので、実際には回復期リハビリを必要とする患者さんは約300人でした。一方、1年間の回復期リハビリセンターの入院数は約230人でしたので、当院の回復期リハビリセンターに入院できなかった約70人の患者さんは他院にお願いすることになりました。急性期の平均入院日数は約15日ですが、回復期リハビリでの平均入院日数は約80日と約5倍以上の入院期間が必要となります。そのため、多くの患者さんに回復期リハビリを受けもらうにはどうしても多くの病床が必要になります。今回、回復期リハビリセンターが10床増床され60床になりましたので、単純に計算すると年間で

これまでより約45人多い患者さんを当院の回復期で受け入れることができるようになります。増床に伴い、スタッフの人数も増員していますので十分に行き届いた環境で家庭・社会復帰へのリハビリをさせていただけることと思います。

当院でのリハビリの特徴は急性期治療から切れ目なく回復期リハビリに移行できることと急性期からの診療情報が医師を含むスタッフ全員で共有されていることで病態を十分に把握した状態でリハビリを継続できることにあると思います。これからもこの特徴を生かして患者さんの社会復帰に尽力していきたいと思っています。



回復期リハビリテーション看護師として

北3階病棟 副主任・回復期リハビリテーション認定看護師 平井 淳

回復期リハビリテーション病棟に入院している患者さんは、1日でも早く自宅や社会への復帰をしたいと、日々リハビリを頑張っておられます。しかし、思うように身体が動かないことや、入院期間が長くなることでストレスや、悩みを抱えている患者さんも多くおられます。そのため、身体だけでなく、心のケアも回復期看護師の重要な役割だと私は考えています。私は患者さんが、なんでも相談しやすいように、いつも明るく話しかけやすい雰囲気を心掛けて日々ケアを行っています。病棟でも四季折々、様々なイベントやレクリエーションを行い、少しでも患者さんの元気につながればと、スタッフ一丸となって取り組んでいます。



当院の回復期病棟でリハビリをがんばってよかったと、笑顔や涙を流しながら退院される患者さんを見ることができた時は、回復期看護師をやっていてよかったと心から感じ、私自身も元気をもらっています。

元気になって帰られる患者さんを増やしたい、もっと良い看護がしたいと思い、私は今年の1月に回復期リハビリテーション認定看護師の資格を取得しました。また今年から病棟も60床に増床しました。

さらにパワーアップした病棟で、患者さんがリハビリに前向きに取り組むことができるようにサポートし、心身ともに元気に回復して退院できるようこれからも支援していきたいと思っています。

室温ムラを解消するために

省エネルギー委員会事務局 総務課副課長 木戸 貴之

当院では室温ムラを解消する為に、サーキュレーターとエアコンシーリングファン(天井扇風機)を導入致しました。それぞれの効果についてご説明致します。

1. サーキュレーター(循環扇)

特定の方向に強い風を送ることで、部屋全体の空気を効率的に循環させる事が得意です。

冷暖房効率の向上 : 部屋の空気を循環させる為に使用し、空気の流れを作り温度差を解消する役割を果たします。

湿気や結露の防止 : 部屋の空気を循環させる事で湿気を分散し、結露を防ぎます。

2. エアコンシーリングファン(天井扇風機)

広い部屋の空気を循環させる為に使います。

温度の均一化 : サーキュレーターと同様に空気を循環させることができますが、特に天井からの風を効率よく部屋全体に拡散させる為、広いスペースでの温度ムラを解消するのに非常に効果的です。

エアコン使用時に、天井近くの空気をかき回し、部屋全体に均等な温度が広がるようにします。

省エネ効果 : 冷暖房の効率が上がるため、使用が抑えられ、電気代の節約が可能です。

これからも省エネルギーに努めつつ快適な入院生活が過ごせるよう努めてまいります。



サーキュレーター エアコンシーリングファン



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

2月(如月) きさらぎ 寒さの中にも、ほんのりと春の気配が一。「梅見月」「初花月」「雪消月」などの別称もあり、春を待ち侘びる先人たちの思いが感じられます。

二十四節気
大寒
たいかん

1/30～2/2(第七十二候) 鶏始乳／にわとりはじめてとやにつく

春の気配を感じ、にわとりが卵を生み始める頃。寒さの為に卵が母鳥の胎内にいる期間が長くなる為2～4月は栄養価が高くなります。古都に早春を告げる風物詩「山焼き」が奈良「若草山」で行なわれ、夜空を焦がします。



一節気
立春
りつしゅん

2/3～7(第一候) 東風解凍／はるかせこおりをとく

2/4は立春。暦の上では、春の始まり。曹洞宗の道元が伝えた「立春大吉」の御札を柱や玄関に貼り、一年の無事を祈ります。すべての文字が左右対称であり、バランスや安定に通じる安定が、「七十二候」もこの頃から新たにスタート。気持ちもあらたに、何かにチャレンジ♪はいかがでしょう。



鬼ハ外！福ハ内！
ウシノ頭を飾り、元気に
豆まき♪

2/8～12(第二候) 黄鶯睨睨／うぐいすなく

「春告草」とも言われる梅。奈良時代以前は「花見」は梅を愛でることでした。白く可憐な白梅、紅くあでやかな紅梅、どちらも心躍る情景です。寒さの中香り高く咲く姿は美しさと同時に、力強さも感じさせてくれます。



2/13～17(第三候) 魚上氷／うおこおりをいずる

厳寒の川の流れの中、魚が動き始めます。2月16日は「寒天の日」。厳冬の長野で、戸外に放置したトコロ天の変化に気づいた江戸時代の宿屋の主人が、製法を研究、世に売り出したのが始まりとされます。今も寒天の生産量は全国一位！平均寿命男性一位、女性二位の長野県。おみそ汁に寒天を入れることが長寿をささえているのかもしれない。



二節気
雨水
うすい

2/18～22(第四候) 土脉潤起／つちのしょううるおいおこる

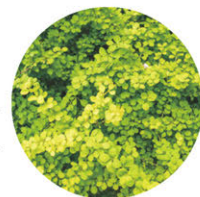
やさしい早春の雨に土もゆるんでくる頃、雪解けの頃、春の山菜は山からのごちそうですね。つぼみの固い頃のフキノトウを刻んで油で炒め、味噌、みりん、砂糖を加えて、水分を軽く飛ばしたフキノトウ味噌♪ごはんのお供にお酒のおつまみに♡



近づく春の気配を
ちを感じる「雨水」の頃。
農耕が始まる大切な時季。

2/23～27(第五候) 霞始靄／かすみはじめてたなびく

雨水のこの頃は、大気中に水分が増え、遠くがぼんやりと見える霞が～。春先に萌え出る若葉の色「萌黄色」。平安時代から、春の色として愛され続ける色です。ちなみに、歌舞伎の定式幕は萌葱色(萌黄色より暗い緑)、柿色、黒色の三色です。



その3 ネギ物語「岩津ねぎ」

冬に美味しい白ねぎは、低温で生育した後、春が近づくと葉先にいわゆる「ネギ坊主」ができます。トウ立ちした後の「花」ですね。ネギの花言葉の「笑顔」「愛嬌」「ほほえみ」は、このネギ坊主の愛らしさが由来。もう一つの「挫けない心」は、まっすぐに伸びる葉の様子から。咲ききらない「ネギ坊主」は薬味や天ぷらにすると美味(だそうです^^)伝統的な橋、寺社等に設けられている「擬宝珠(きぼし)」。仏教の宝珠に似ているから、ネギの独特の臭気が魔除けになるから、など諸説ありますが、「ネギ坊主」から形どられたもの。「擬宝珠」が「ネギ坊主」だったとは…驚きですね。



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋〈顔〉	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後	高橋〈血〉	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前	前岡	岡本	角田	富士井	酒井
	午後	前岡	岡本	角田	祖父江	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
	午後	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	—	担当医〈血〉
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	麻酔科 鈴木
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 樹下	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 樹下	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田〈FUS〉

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～ 6診 麻酔科 鈴木

(2025.2)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.259

西神戸ホームケアクリニック

院長：松尾 圭祐

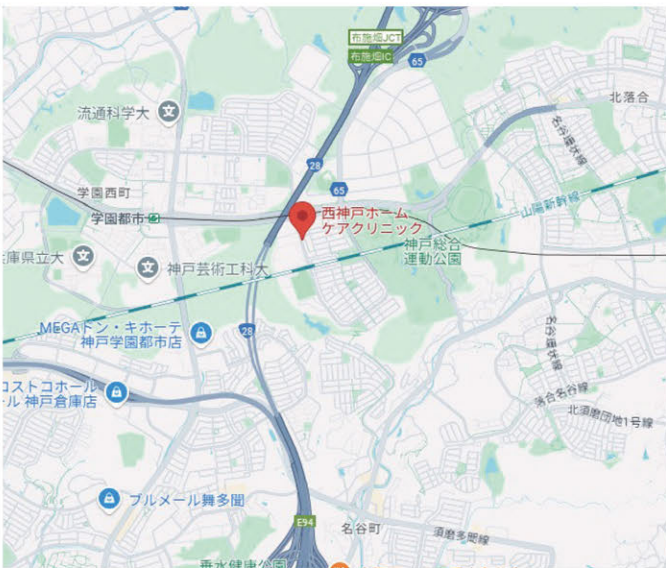
【診療科目】訪問診療(内科)

【住 所】神戸市西区学園東町6丁目7-7

【電 話】078-798-6005

訪問診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～18:00	○	○	○	○	○	/	/	/

休診日：土曜、日曜、祝日



松尾院長からのメッセージ

当院は、在宅医療・終末期医療を中心に24時間体制で地域の皆様の健康をトータルサポートしています。

No.262

たかやま整形外科リハビリクリニック

院長：高山 孝治

【認定資格・所属学会】医学博士、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定リハビリテーション医、日本人工関節学会認定医、難病指定医、身体障害者福祉法指定医、日本整形外科学会、日本骨粗鬆症学会、日本人工関節学会

【診療科目】整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

【住 所】神戸市垂水区狩口台1丁目16番2号

【電 話】078-787-5151

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/	/
15:00～18:30	○	○	/	○	○	/	/	/

休診日：水曜・土曜午後、日曜、祝日

※受付時間は診療時間終了の15分前までです。



高山院長からのメッセージ

くび・こし・関節の痛みに対するリハビリテーション・骨折予防のための骨粗しょう症治療などを積極的に行っています。どんなことでもお気軽にご相談ください。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長 大西 宏之



ホームページ